

ルカの福音書 第11章 4節

「私たちの罪をお赦してください。私たちも私たちに負いめのある者をみな赦します。私たちを試みに会わせないでください。」

人みな罪意識を持っているのではないか。自分の足りなさ、なんらかの欠けを知っているのではないか。そこから生じる過ちや汚れた思いを経験しているのではないか。良くありたい自分に背を向け、逆方向に行ってしまうことがあるのではないか。自分のことだけの過ちばかりでなく、それが他人との関わりでも起こってしまう。だから、私の罪をお赦してください、と祈り、さらに、私たちの罪をお赦してくださいと祈る。

この赦しを初めに祈れるのは幸いである。罪の悲劇をご存じで、また私たちの罪をご存じのお方がいることは幸いである。すべての罪をご存じのお方が、その罪の一切お赦しくださることを信じて祈ることができる幸いがある。祈るとき確信して祈れるお方である。

もはや、罪意識に苛まれることは無い。意識ではなく、すべての罪を告白し、祈れるお方を知っている。だから、祈れる、「私たちも私たちに負いめのある者をみな赦します。」私の、私たちの罪をお赦しくださるお方の赦しで、私たちも赦す者に変えられる。しかし、なお試みが続く。だから、祈る、「私たちを試みに会わせないでください。」

2023年4月2日